北広島商工会だより

令和７年９月１日号
第 148 号

会員の状況
（部会の重複加入あり）

会員	743 名（+2、−2）
商業	453 名（+2、−2）
工業	346 名（+0、−0）
青年	34 名（+2、−1）
女性	43 名（+0、−0）

※＋加入人数、－脱退人数

発　行　北広島商工会事務局
責任者　事務局長　千葉　直樹
〒061-1121
北広島市中央 5-7-2
TEL 011-373-3333
FAX 011-373-3212
shokokai@kitahironavi.or.jp
https://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社ＰＲ掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。（会員相互ＰＲ事業）

■新規学卒者の採用活動と職場定着について要請がありました

８月５日、北海道石狩振興局長 北山雄彦氏、北海道教育庁石狩教育局次長 田中猛之氏、北海道高等学校長協会石狩支部 斎藤雄大（北広島高等学校長）氏、北海道高等学校ＰＴＡ連合会石狩支部長 街道美恵（札幌東高等学校）氏、札幌東公共職業安定所長 小林一哉氏が当会を訪問し、冨田副会長と竹村副会長が対応。



新規学卒者への対応や採用活動、職場定着に関することなど、次の意見交換があり、会員への理解と協力の要請がありました。

①新規学卒者の採用活動の現状

近年、新卒採用市場は「売り手市場」が続いており、企業間の人材獲得競争が激化している。特に中小企業では、大企業と比較して求人倍率が高い傾向にある。

②職場定着の現状と課題

新規学卒就職者の就職後３年以内の離職率は、学歴や産業、事業所規模によって異なるが、高校卒の離職率が高い。新規学卒者が早期に離職する要因としては、次のようなものが考えられる。入社後のミスマッチ（仕事内容、社風、待遇など）・人間関係の不和・キャリアパスが見えない・仕事に対するモチベーションの低下など。

③採用活動から職場定着までの取り組み

仕事内容、職場の雰囲気などを正確かつ具体的に伝えることで、学生とのミスマッチを減らす。学生が実際の業務や社風を体験できるインターンシップは、相互理解を深め、ミスマッチ防止に有効である。

■「えふたん」フォトスポットパネルを寄贈

エルフィンロード活性化委員会では、野球観戦などで当市を訪れる観光客等を歓迎するため、北海道ボールパークＦビレッジの公式キャラクター「えふたん」のフォトスポットを作成し、北広島市に寄贈しました。

パネルは高さ２．２メートル、幅３．６メートルで、えふたんの他にもお友達のキツネくんなどが描かれており、日付も変更できるようになっているもので、北広島市と日本ハムファイターズの協力をいただき完成させたものです。



８月９日の「北広島ふるさと祭り」のオープニングセレモニーでお披露目をし、８月11日からはエルフィンパークに設置されています。

試合開催日などは、多くの方が記念撮影をしており、北広島市を訪れた思い出づくりの新スポットとなっています。

工業部会（部会長　木原　雅史）

■職場における熱中症対策などを学ぶ

７月24日、中央公民館で労務対策セミナーを開催。講師に垣内社会保険労務士を迎え、「最近の法改正に伴う人事労務管理について」をテーマに、職場における熱中症対策や助成金の活用方法などについて説明いただきました。

熱中症対策については、義務化の背景や、事業者が講じるべき具体的な行動について説明がありました。一般的な対策としては、こまめな水分補給や休憩の確保が重要であり、熱中症対策グッズの購入や過度な設備投資は必ずしも必要ではなく、費用をかけずに工夫することが望ましいとのことでした。

その他、２０２４年問題については、運送業界を中心に注目され、労働時間の制限や休憩時間の確保など、業界全体での対応が求められる課題であるとのこと。また、従業員のスキルアップや研修制度の充実に活用できる「キャリア形成助成金」についても紹介され、積極的な利用が推奨されました。

労使紛争予防のポイントとして、トラブルを未然に防ぐためには、就業規則や雇用契約書などの書類整備が重要であるとのこと。さらに、時間外労働や業務指示に関する記録を残すことが、労使間の紛争予防につながるそうです。

当日は17名が参加し、皆さん熱心に耳を傾けていました。実務に直結する内容が多く、今後の業務運営に大いに役立つセミナーとなりました。



青年部（部長　仲野　誠）

■交通安全街頭啓発運動を実施

この事業は毎年、道商工会青年部連合会が呼びかけ、各商工会青年部が交通事故防止を訴え、地域住民に交通安全意識の浸透を図ることを目的として実施しています。

当青年部では７月15日、18時から部員10名が参加し、ＪＲ北広島駅と道道江別恵庭線の交差点で交通安全意識啓発運動を実施しました。

参加者は道路を向かい合うように二班に分かれ、交通事故が多くなる日没時に、ドライバーの方に交通安全の意識を持ってもらえるように道路沿いで交通安全の旗を掲げ、交通事故防止を訴えました。



■北の酒まつり出店

７月19日、20日に開催された「北の酒まつりｉｎきたひろしま」に出店しました。

両日とも真夏の暑さにもかかわらず、多くの来場者で会場は大いに賑わい、活気に満ちた２日間となりました。

メニューの中でも、特にやきとりは、予想を上回る売れ行きとなりました。

来場者は青年部以外の各店舗の味を楽しみながら、酒まつりを存分に満喫している様子でした。



■ビアガーデンを開催

８月23日、24日の両日、北広島西口ゲートパークで開催しました。

初日の朝は小雨でしたが、徐々に回復し快晴となり、お菓子まきと振る舞い酒で開幕。仲野部長による生け花パフォーマンスも披露されました。続いて、藤・北大ＨＯＮＤＡ　ＣＡＲＳによる新体操の演技、恵庭紅鴉によるよさこい演舞、ＡＮさんとぷぅ吉さんによるギター＆歌のライブが行われました。その後のカラオケ大会には、多くの方がエントリーし、会場ＤＪのグリズリーさんも飛び入りで歌声を披露。さらに、里塚新体操クラブによる新体操の演技、恵庭紅鴉によるよさこい演舞で会場の熱気は最高潮に達しました。

２日目も快晴となり、前日同様お菓子まきと振る舞い酒でスタート。インストラクター・れいこさんによるヨガや、市内演奏者によるライブなどがあり、観客からは大きな拍手が送られました。



会場には両日とも、スーパーボールすくいやヨーヨーつり等の子ども向けの縁日も設け、夕方には抽選会を実施しました。

この２日間は、エスコンフィールドでデイゲームがあり、２日目の夜にはエスコンフィールドで花火大会も行われたことから、試合観戦前後の来場も多く、家族連れなどが楽しんでいました。

この事業の収益の一部で、市内小学校の１年生へ文房具を贈呈する予定です。

女性部（部長　山美　直美）

■北の酒まつりに出店～販売振るわず

７月19日と20日「北の酒まつりｉｎきたひろしま」に出店し焼きそばと漬物、枝豆を販売しました。

１日目は雨予報だったこともあり、当初の予定数を減らして販売。雨は降りましたが後半は雨が上がったこともあり、来場者は多く準備した商品は完売できました。

２日目の天候は良かったものの１日目に比べると来場者が少なく、イベント時間も短いことから販売予定数を売り切ることは残念ながらできませんでした。

両日ともに暑い中でのイベント出店となりましたが、毎年出店していることもあり、焼きそばは好評でした。



■新会員紹介

【商業部会】

○シンコースポーツ北海道㈱
北広島営業所
佐々木　綾乃　様
共栄３１５－２

○㈱ＳＡＰ
鈴木　義紀　様
栄町１－２
アンビシャスビル５Ｆ－Ｃ